

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

| 1-1 建物概要 |                           | 1-2 外観 |                 |
|----------|---------------------------|--------|-----------------|
| 建物名称     | (仮称)博多駅南3丁目マンション 新築工事     | 階数     | 地上14F           |
| 建設地      | 福岡県福岡市博多区博多駅南3丁目78-1 外14番 | 構造     | RC造             |
| 用途地域     | 商業地域、準防火地域                | 平均居住人員 | 306 人           |
| 地域区分     | 7地域                       | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途     | 事務所・集合住宅                  | 評価の段階  | 実施設計段階評価        |
| 竣工年      | 2023年10月 予定               | 評価の実施日 | 2022年3月31日      |
| 敷地面積     | 1,776 m <sup>2</sup>      | 作成者    | 川本 崇人           |
| 建築面積     | 1,016 m <sup>2</sup>      | 確認日    |                 |
| 延床面積     | 11,134 m <sup>2</sup>     | 確認者    |                 |

外観/パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 276 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)  
② 建築物の取組み: 58%  
③ 上記+②以外の: 58%  
④ 上記+: 58%

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 2.7  
Q2 サービス性能: 2.9  
Q3 室外環境(敷地内): 1.7  
LR1 エネルギー: 3.8  
LR2 資源・マテリアル: 2.7  
LR3 敷地外環境: 3.3

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.4**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

音環境: 2.9, 温熱環境: 1.8, 光・視環境: 2.7, 空気質環境: 3.7

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性: 2.7, 耐用性: 2.9, 対応性: 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

生物環境: 1.0, まちなみ: 2.0, 地域性: 2.0

**LR のスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.8

建物外皮の: 2.9, 自然エネ: 2.0, 設備システ: 5.0, 効率的: 2.9

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源: 3.4, 非再生材料の: 2.4, 汚染物質: 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化: 4.6, 地域環境: 2.5, 周辺環境: 3.0

| 3 設計上の配慮事項   |   |  |
|--|---|--|
| <b>総合</b><br>・3方の道路に歩道が無いいため交通量の多い広い道路2方に歩行者が歩けるように通路を設け街並みの安心・安全に配慮をしました。 |   | その他<br>0   |
| <b>Q1 室内環境</b><br>・階段遮音性とホルムアルデヒドの発散を抑えた建材を使用し安全で快適な居住空間になるよう配慮しました。       | <b>Q2 サービス性能</b><br>・段差のない計画とし高齢者などが安心・安全に生活できる空間に配慮しました。 | <b>Q3 室外環境(敷地内)</b><br>・建物下のアプローチ部分を斜めに歩行できるようにし日影や風通しが良くなるよう配慮しました。 |
| <b>LR1 エネルギー</b><br>・LED照明などの高効率設備機器などを採用しました。                             | <b>LR2 資源・マテリアル</b><br>・節水性に優れた設備機器などを採用しました。             | <b>LR3 敷地外環境</b><br>・アスファルト面を極力減らすように計画しヒートアイランド現象の緩和が図れるように配慮しました。  |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される